キャラクター名
少名　瓢（すくな　ひさご）

プレイヤー名

シンドローム	ソラリス ソラリス	ワークス	格闘家	カヴァー	売人
オプショナル		年齢	42	性別	男
覚醒	生誕	衝動	飢餓	初期侵食率	38 %
出自	親戚と疎遠	経験	無限回朗	邂逅	志賀野　淳二

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	1	0			1
感覚	0	0	0	1		1
精神	2	0	0			2
社会	6	0	0			6

HP	44
行動値	4
(非装備時)	4
戦闘移動	9
全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			ＲＣ			交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：噂話	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
両手剣	白兵	1r-1	3	10		潰されかけたことは3回

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
【98】遺産継承者	P	N		
一寸法師	P　憧憬	N 劣等感		
巨人族共	P　感服	N　悔悟		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:　12	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
アドレナリン	5	3	メジャー/リアクション	-	-	-	-	
効果：判定＋LvD								
狂戦士	5	5	メジャー	視界	単体	自動	80%	
効果：C値－1、判定＋Lv×2								
女王の降臨	1	5	セットアップ	至近	自身	自動	ピュア	
効果：メジャーエフェクト使用可能、Lv回/1S								
アウトレイジ	1	6	オート	視界	単体	自動	100%	
効果：C値－1、暴走付与、1回/1S								
完全獣化	1	6	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：肉体判定＋（Lv＋2）D								
コンセントレイト	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果：C値－Lv								
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

かの有名な「一寸法師」を祖先に持つ、小人族と呼ばれる存在のレネゲイドを受け継ぐ小人型オーヴァード。ヤク厨。小人であることに誇りを持っており、元を辿れば同じ種族であるはずの巨人族とは相いれず、またガタイの大きいジャームなども目の敵にする傾向がある。小人族の偉大さを広め、この世に蔓延る図体だけのウドの大木を駆逐する（上に、質のいいハッパをキメる）ため、現在はオーヴァードとしてUGNや裏社会などに力を貸すフリーのイリーガルとして活動している。

”小人族”の末裔たちの本来の背丈は、彼らが一寸法師の子孫であることを視覚的に証明してくれる。千年前以上に先祖が承った強力なアーティファクト”打ち出の小槌”の名残によって、ある程度は体の大きさを自由に変えることができるため、現代日本で暮らす彼らは人間代まで背丈を大きくしている。しかしながら、それは中年オヤジがぽっこりお腹に力を込めるがごとく全身を強張らせて力み続けているに過ぎない。彼ら小人族はちょっとした拍子や気が緩んだ時には身体の縮尺が小人状態に戻るというのがスタンダードである。一族の多くが小人族としての誇りを忘れ、潜在的なオーヴァードとして現代日本に順応していく中、少名瓢は人間・巨人族たちに小人族としての矜持を示そうとした。すなわち、変体能力で身体を肥大化させて剣を振り回すいっぱしのマーセナリーとして武勲を立てようと、それはそれは高潔な志を掲げて活動を始めた。そこで問題となったのが、そのバルーンアートのように不安定な戦闘体を維持したままどのようにして普通の人間以上の力を出すのかということである。身体を膨張させることに拘るのをやめ、その小さな体躯を生かして大立ち回りをするという未来もあったのだろう。しかしながら、彼が手にしてしまったのはブラックアビスを始めとするレネゲイド活性剤であった。

エフェクト効果の固定化及び身体能力の向上。おまけに何だか気持ちいい。ソラリスが作り出す秘薬の何と素晴らしいことか。頼り慣れ依存し溺れ浴び飲まれ。一族が誇ったキュマイラの血は薄れに薄れ、地産地消の永久機関となった極めてソラリス傾向が強い亜純血が誕生した。現在の彼は、ソラリスの能力で作り出したヤクをキメることで、最高にハイになり、脳のリミッターをぶっ壊してひたすら殴るという方法を取ってきた。現場職員を援護するサポーターとしての役割を期待されて雇われることが多いのだが、そんなことは知ったこっちゃない。クスリを自分に投与して自ら剣を手に取りま果敢に敵に立ち向かうことで……小人族の威厳を示そうとしている。たしかに最初はそのはずだったのだが、戦闘に明け暮れるうちにクスリに脳を蝕まれたために最近ではクスリをキメる名目として戦闘に身を投じている節がある。そのことを指摘されると顔を真っ赤にして否定してくることだろう。呂律の回っていない口調で。